

いながき

たかこ

孝子

<https://inagakitakako.seikatsusha.me>

REPORT



品川・生活者ネットワークニュース No.137【中部版】

発行：品川・生活者ネットワーク 発行責任者：井上八重子

発行日：2023年3月15日 〒142-0043 品川区二葉 1-10-11

TEL03-5751-7105 FAX03-5751-7106

Eメール：shinagawa@seikatsusha.net <https://shinagawa.seikatsusha.me>

■品川・生活者ネットワークいながき孝子の活動を紹介します。



プロフィール

いながき孝子 いながき・たかこ

■1966品川区西五反田生まれ。区立第一日野小、日野中、都立大崎高校を経て國學院大學文学部史学科（2部）卒■1990～民間企業、東京職業能力開発センター等の外郭団体に勤務

■1996～2000しながわ女性フォーラム実行委員■1997～1998男女共同参画のための品川区行動計画推進会議委員■2009～尾崎行雄記念財団琴堂塾塾生（2010～同会会員）■2010～一般社団法人「構想日本」勤務■2014～放射2号線を考える会事務局■2022～住み続けられるまちづくりをめざす品川区民の会副代表■2022品川区議会議員補欠選挙に挑戦し初当選。会派：品川・生活者ネットワーク副幹事長、厚生委員会、区民と議会の交流会議

●趣味：歴史探訪、古武道、弓道、読書、旅行●西五反田在住



私らしく 生きるための 政治

昨年末の区議補欠選挙で信任をいただいて4カ月。「大事なことは地域で市民が決める」「安心・共生・自治のまちをつくる」を念頭に、全力で当事者・市民の声を決定の場に届けてきました。

コロナ禍に続くウクライナ危機等がもたらした経済の停滞、雇用悪化や物価高騰の影響は、ここ品川区でも著しく、社会的に弱い立場にあるシングルマザーや非正規で働く若者世代に大きな打撃を与えています。それまで潜在化していた課題、制度や政策の不備を指摘し、解決に導くことができる新たな政治が今こそ必要です。

市民主権が行きわたる地域社会を築くために、税金の使途と世代を超えて共生するルールを決めることが、政治に課せられた責任です。私・いながき孝子は、暮らし発・市民の声を力に、2期目の区政にチャレンジします。



生活者ネットワークは、東京都内34の自治体があり、都議、市・区議あわせて41人の女性議員をもつ地域政党です。

福嶋浩彦

元我孫子市長／元消費者庁長官／中央学院大学教授

地方自治は市民一人ひとりから出発するもの。国からではなく、生活者である市民から始まる社会を創っていきましょう！それをリードできるのが、市民と同じ目線で考えて対話し、市民と共に行動する生活者ネットワークの皆さんだと思います。心からエールを送ります。



皆川満寿美

中央学院大学准教授

女性なら誰でもいいわけではありません！女性のエンパワメント、男女平等、ジェンダー主流化（男女共同参画）を高く掲げる「わきまえない女たち」のローカルパーティとしての「東京・生活者ネットワーク」の方々に、とても期待しています。



大村 究

羽田問題解決プロジェクト代表

堀 利和

視覚障害者・元参議院議員

藤田愛子

一般社団法人生活サポート基金副理事長

千葉愛一郎

東京・生活者ネットワーク元都議会議員

長野一郎

さよなら原発品川アクション会員

岩永やす代

視覚障がい者で品川区初の社会福祉士

北野富江

東京・生活者ネットワーク都議会議員

三村りつ子

元品川区議会議員

市川和子

元品川区議会議員

井上八重子

品川・生活者ネットワーク代表／元品川区議会議員

いながき
孝子さんを
応援します

多様性を認めよう ジェンダー平等社会を実現する！

GDP 世界第3位 (2017年 IMF) の日本ですが、「女性活躍」を掲げているにもかかわらず、男女間の格差を表すジェンダーギャップ指数ランキングでは、2012年101位、2021年120と順

位を下げ続けています。

働く人の4割が非正規雇用(うち7割が女性)となり、共働き世帯が多数派となっているにもかかわらず、妻の家事・育児時間は1日約7時間であるのに対し、夫はわずか1時間(2018年男女共同参画白書)。この間、男女雇用機会均等法、育児・介護休業法、パート労働法、女性活躍推進法などが整備されてきましたが、女性だけでなく、長時間労働を強いられる男性の働き方を改革

しなければ、女性の負担は増すばかりです。

2018年、生活者ネットワークは、「ジェンダー問題プロジェクト」を組織し、東京に暮らす女性たちに聞く大規模調査を実施しました。介護や子育ての社会化の充実が喫緊の課題となっていますが、福祉的視点からだけでなくジェンダーの視点からも社会変革が問われていることが再確認されました。自己責任のもと、一方の性に負担や犠牲を強いるのではなく、社会の問題としてとらえ、政治・経済・社会のあらゆる分野の政策においてジェンダー平等を基盤とする、「ジェンダー主流化」を、ここ品川から推し進めます。



2019年に始まった女性への性暴力に抗議する社会運動:フラワーデモに賛同し、毎月11日に生活者ネットワークが行っているフラワー遊説で。12月10日大井町



あなたの
ひとこと提案募集中!

品川・生活者ネットワーク

いながき孝子の提案

私らしく 生きるための政治



1. 子ども・若者の未来を拓く品川へ

- 子どもの育ちを応援する子どもの権利条例を制定する
- 子どもの相談・救済・回復をサポートする権利擁護機関を設置する
- 子ども・若者議会を実現し、子ども・若者の声を政策に反映する
- 保育の質を高め、かけがえのない「子どもの時間」をまもる
- 学校給食は完全無償化し、夏休み給食・アイ・オーガニック給食・アイをつくる

2. 高齢になっても障がいがあっても、誰もが暮らしやすいまち

- ケアする人もされる人も大切に「ケアラー支援条例」をつくる
- 合理的配慮を踏まえた「障がい児・者差別禁止条例」を制定する
- 医療・介護・障がい福祉をつなぐ横断型の相談体制をつくる
- 困窮者支援のワンストップ相談窓口と伴奏型支援を拡充する
- 地域包括ケアの拠点を整備・拡充し、世代を越えて在宅生活を支えるしくみをつくる

3. 私が私のままでいられるジェンダー平等社会へ

- ジェンダーの視点で政策を見直す! 包括的性教育(人権教育)を進める
- 女性の人権を守る! 被害の救済・支援のしくみを整える
- 女性も男性も生活者! とともに子育てできる環境を整える

4. いのちをつなぐ環境優先のまち

- 原発ゼロ・ストップ地球温暖化! 省エネ・再エネ100%のまちを市民とともにめざす
- 食の安全確保は公給食から! 遺伝子組み換え食品・ゲノム編集食品は使わない
- 健康と生命、住環境を脅かす羽田新飛行ルートは撤回!
- リニア中央新幹線はいらぬ!

5. 情報公開を進め市民が自治するまちをつくる

- 無作為抽出の市民ワークショップを政策立案に取り入れる
- 小中高校を通じて、シチズンシップ教育や労働・消費者教育を充実させる
- 公共施設の新設・建替えや都市計画道路の見直しは市民参画で!
- 参加と協働を実現する「自治基本条例」をつくる

3つのルール

- 1 議員は交代制(ローテーション)
- 2 議員歳費は市民の政治活動資金に
- 3 選挙はカンパとボランティアで

みなさまのカンパをお待ちしております
郵便振替口座 00130-9-161299 品川・生活者ネットワーク
★1,000円以上のカンパをいただいた方には、東京・生活者ネットワークが発行する生活と政治をつなぐ情報紙:月刊「生活者通信」を1年間お届けします。



羽田新飛行ルート撤回を求めるアピール行動で街頭に立つ。左から品川ネットの区議会議員いながき孝子、吉田ゆみこ、田中さやか。2月23日大井町

